

七高SSH通信

R4/7/26
令和4年度
第5号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

マリンサイエンス

7月12日(火)~14日(木)にかけて、鳳珠郡能登町小木の金沢大学環日本海域環境研究センター臨海実験施設において1年生理数科生徒を対象に「マリンサイエンス」を実施しました。この実習は、金沢大学の協力をいただき、能登半島の海の生物を体験的に学ぶことで、生物学についての知識を高め、自然を視る眼や科学的な視野を養うことを目的としているもので、毎年生徒に大変人気の高いものです。天候にも恵まれ、海の生物の採集や乗船実習を充分行うことができました。課題研究として海の生物について、班ごとにテーマを決めて研究を行いました。じっくりと観察し不思議を見つけ、実験を行ってその現象が起こる仕組みを考える。たった二日間の短い時間ですが、どのグループも集中して、それぞれに納得いく内容に仕上げました。最終日の発表では、最優秀賞に選ばれた2班に景品としてサクラ貝の標本が授与されました。また、他にも金沢大学の鈴木先生からは「食品の科学」、浦田先生からは「ウニの発生」についての講義をしていただきました。さらにこの研究については後日七尾高校からリモートで発信し、能都中学校、松波中学校、医王山中学校、能登香島中学の生徒とも発表会を行いました。

1年生にとっては、初めての宿泊した行事でしたが、生徒たちは色々なことに互いに協力し合って積極的に取り組んでいました。



○マリンサイエンスを通じて、今まで知らなかった生物の生態を知ることがもちろん、研究をする楽しさも知ることができました。

○皆で協力することで、一つの生き物について調べ、自分たちの力でたくさんのことを発見することができました。発見する楽しさや難しさを学ぶことができ、とても良い機会になりました。

○自分たちでテーマを決めて研究することが初めてだったので、大変でしたが、すごく勉強になりました。

○海洋生物を海で実際に見たり、観察してみると、体のつくりだけでなく、行動やいろいろな刺激に対する反応が見られてとても面白かった。

○マリンサイエンスを通して、研究することの楽しさや班の人達と協力することの大切さを学ぶことができました。



最優秀賞



「あつまるかい?イシダタミ貝」



- ・スター性がない!?
- ・ウニの最強ガードシステム
- ・どのよウニ
- ・ウニが言うにはもとの格好に戻りたいらしい
- ・ウニンジャの隠れ身の術
- ・あつまるかい?イシダタミ貝
- ・トゥルトゥルなウミウシ
- ・お掃除 Kaimen☆~スポンジシェアハウスへようこそ!~



「トゥルトゥルなウミウシ」



金沢大学環日本海域環境研究センター
臨海実験施設宿泊棟前にて